CHAPTER 5

機能、テンプレート、サービス、およびユーザの設定

Cisco Unified IP Phone をネットワークに設置し、ネットワーク設定値を設定し、それを Cisco Unified Communications Manager に追加した後は、Cisco Unified CM の管理を使用して、テレフォニー機能の設定、電話テンプレートの修正（オプション）、サービスの設定、およびユーザの割り当てを行う必要があります。

この章では、これらの設定手順の概要を説明します。手順の詳細な説明については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。

ユーザへの情報の提供方法、および提供すべき情報の種類については、「Web サイトによるユーザへの情報提供」（P.A-1）を参照してください。

英語以外の環境に電話機を設定する方法については、「各言語ユーザのサポート」（P.C-1）を参照してください。

この章は、次の項目で構成されています。

- 「電話機で使用できる電話機能」（P.5-1）
- 「プロダクト固有の設定パラメータの設定」（P.5-20）
- 「社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリの設定」（P.5-22）
- 「電話ボタン テンプレートの変更」（P.5-23）
- 「ソフトキー テンプレートの設定」（P.5-25）
- 「サービスの設定」（P.5-26）
- 「Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加」（P.5-27）
- 「ユーザ オプション Web ページの管理」（P.5-27）

電話機で使用できる電話機能

Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後、その電話機に機能を追加することができます。表 5-1 は、サポート対象のテレフォニー機能のリストを示しています。これらの機能の多くは、Cisco Unified CM の管理を使用して設定できます。設定に関する参照先の欄は、設定手順や関連情報が記載されている Cisco Unified Communications Manager およびその他のマニュアルを示しています。

電話機でこれらの機能の多くを使用する方法については、お使いの Cisco Unified IP Phone ユーザ ガイドを参照してください。電話機の機能の一覧については、『Cisco Unified IP Phone Features A–Z』を参照してください。

（注）　Cisco Unified CM の管理では、各種テレフォニー機能の設定に使用できるいくつかのサービス パラメータも用意しています。サービス パラメータの詳細、およびサービス パラメータによって制御される機能の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能

機能	説明	設定に関する参照先
固定短縮ダイヤル	電話機のキーパッドに割り当てられたインデックス コード（1 ～ 99）を入力すると、短縮ダイヤルで電話をかけられます。 （注）　固定短縮ダイヤルは、オンフックでもオフフックでも使用できます。 インデックス コードの割り当ては、ユーザ オプション Web ページで行います。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」
匿名コール ブロック（SIP 電話機のみ）	ユーザが匿名の発信者からのコールを拒否できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「SIP Profile Configuration」を参照してください。
すべてのコールのピックアップ	ユーザが、コールがどのように電話機にルーティングされたかに関係なく、コール ピックアップ グループ内の回線上のリダイレクトされたコールを CTI アプリケーションを使用してピックアップできるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Pickup」を参照してください。
オーディオ Message Waiting Indicator（MWI; メッセージ受信インジケータ）	ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンからのスタッター音が、回線上にユーザへの新しいボイス メッセージが 1 件または複数着信していることを示します。 （注）　スタッター音は回線によって異なります。スタッター音は、メッセージを受信済みの回線を使用しているときにだけ聞こえます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Message Waiting Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」
自動応答	呼び出し音が 1 ～ 2 回鳴った後で着信コールに自動的に接続します。 自動応答は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかで機能します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Directory Number Configuration」を参照してください。
自動ダイヤル	電話機のユーザが、ダイヤル時に発信履歴ログから一致する番号を選択できるようにします。コールを発信するには、自動ダイヤル リストから番号を選択するか、または手動で番号を入力します。	
自動ピックアップ	ユーザがコール ピックアップのためのワンタッチのピックアップ機能を使用できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Pickup」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
割り込み（および C 割り込み）	ユーザが共有回線上の非プライベート コールに参加できるようにします。割り込み機能には、C 割り込みと割り込みがあります。 • C 割り込みでは、ユーザはコールに追加され、コールが会議に切り替えられます。ユーザと他の参加者が会議機能にアクセスできるようになります。 • 割り込みでは、ユーザはコールに追加されますが、コールが会議に切り替えられることはありません。 割り込みでは、次の 2 つの会議モードがサポートされています。 • ターゲット デバイス（割り込み先の電話機）での組み込みの Conference Bridge。このモードでは、[割込み（Barge）] ソフトキーが使用されます。 • 共有された Conference Bridge。このモードでは、[C 割込（cBarge）] ソフトキーが使用されます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Barge and Privacy」
外線コールの外部転送禁止	外線コールを別の外線番号へ転送することを禁止します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「External Call Transfer Restrictions」を参照してください。
Busy Lamp Field（BLF; ビジー ランプ フィールド）	ユーザが、電話機の短縮ダイヤル ボタン、通話履歴、またはディレクトリの一覧に関連する Directory Number（DN; 電話暗号）のコール状態をモニタリングできるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Presence」を参照してください。
ビジー ランプ フィールド（BLF）ピックアップ	BLF 短縮ダイヤルの拡張機能を提供します。ユーザが着信コールに対してモニタリングできる電話番号（DN）を設定できるようにします。DN が着信コールを受信すると、システムからモニタリングしているユーザに通知され、ユーザはコールをピックアップできます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Pickup」を参照してください。
コールバック	ビジーまたは通話不能だった相手が通話可能になったときに、ユーザに対して呼び出し音を鳴らしてメッセージを表示します。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Back」

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
Call Chaperone	認証された Chaperone ユーザがコールを管理および録音できるようにします。 Call Chaperone ユーザは、発信者からのコールを代行受信および応答し、着信者に対して会議を手動で作成し、そのまま会議に参加してコールを管理および録音します。Call Chaperone 機能が設定されている Cisco Unified IP Phone には、[録音（Record）] ソフトキーがあります。Call Chaperone ユーザは、[録音（Record）] ソフトキーを押すとコールを録音できます。 Chaperone コールの場合、コールの開始時に通知が再生されるか、参加者の 1 人によって伝えられます。通知によって、コールが録音されていることが後で参加者に伝えられます。 Call Chaperone 機能は、外部コール制御だけでサポートされます。この外部コール制御により、Cisco Unified Communications Manager で音声およびビデオを使用したコールを、ルーティング規則をホストするルート サーバにルーティングできます。	
コールの表示制限	コールに関与している通話相手に応じて、発信している回線または接続されている回線のどちらの情報を表示するかを決定します。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Route Plans」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Display Restrictions」
自動転送	ユーザが着信コールを別の番号にリダイレクトできるようにします。コール転送オプションには、[全てのコールの転送（Call Forward All）]、[話中転送（Call Forward Busy）]、[無応答時転送（Call Forward No Answer）]、および [カバレッジなし時転送（Call Forward No Coverage）] があります。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Directory Number Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • 「ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションの指定」（P.5-29）

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
CFA の転送先の無効化	CFA のターゲットが CFA の発信側にコールを発信する場合に、CFA を無効にすることができます。この機能を使用すると、CFA のターゲットは重要なコールのために CFA の発信側に到達できます。この無効化は、CFA のターゲットの電話番号が内線であっても外線であっても、機能します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Directory Numbers」を参照してください。
Call Forward All（CFA; すべてのコールの転送）のループのブレークアウト	CFA のループを検出して防止します。CFA のループが検出されると、CFA の設定は無視され、コールの呼び出し音が鳴ります。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」を参照してください。
CFA のループの防止	CFA のループを作成したり、既存の *Forward Maximum Hop Count* サービス パラメータが許可するよりホップ数が多い CFA チェーンを作成したりする電話機で、直接ユーザが CFA の転送先を設定できないようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」を参照してください。
コール転送時の表示内容の設定	コールの転送時に電話機に表示される情報を指定できます。この情報には、発信者の名前、電話番号、転送先の番号、および最初にダイヤルされた番号が含まれます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」
発信側正規化	着信コールの発信側番号をグローバル化またはローカライズして、電話機に適切な発信番号が表示されるようにします。国際エスケープ文字 + がサポートされています。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Features and Services Guide*』の「Calling Party Normalization」を参照してください。
コール パーク	コールをいったんパーク（一時的に保存）し、その後で Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機を使用してそのコールを取得できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Park and Directed Call Park」を参照してください。
コール ピックアップ	ユーザが、ピックアップ グループ内の別の電話機で呼び出し音が鳴っているコールを自分の電話機にリダイレクトできるようにします。 電話機のプライマリ回線に呼び出し音およびメッセージ表示のいずれかまたは両方のアラートを設定できます。このアラートは、ユーザにピックアップ グループ内でコールの呼び出し音が鳴っていることを通知します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Pickup」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
コールの録音	上司がアクティブ コールを録音できるようにします。コールが録音されている場合、通話中にユーザには録音アラート トーンが聞こえます。 コールがセキュアな場合、コールのセキュリティ ステータスが Cisco Unified IP Phone に鍵のマークのアイコンとして表示されます。コールの発信側および着信側にも、コールがセキュアであり、録音されていることを示すアラート トーンが聞こえることがあります。 **（注）** アクティブ コールのモニタリングまたは録音時、インターコム コールを発信または受信できます。ただし、インターコム コールを発信すると、アクティブ コールが保留になるため、録音セッションは終了し、モニタリング セッションは一時停止されます。モニタリング セッションを再開するには、コールがモニタリングされている側がコールを再開する必要があります。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Monitoring and Recording」を参照してください。
コール待機	別のコール中に、着信コールを示します（ユーザは応答できます）。電話機の画面に着信コール情報が表示されます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications System Guide*』の「Understanding Directory Numbers」を参照してください。
発信者 ID	電話番号、氏名、その他の説明などの発信者の識別情報が電話機の画面に表示されます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Route Plans」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Display Restrictions」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Directory Number Configuration」
Cisco エクステンション モビリティ（EM）	ユーザが、電話機のエクステンション モビリティ サービスにログインして、一時的に共有 Cisco Unified IP Phone に電話番号およびユーザ プロファイルの設定を適用できるようにします。 エクステンション モビリティは、ユーザが社内のさまざまな場所から作業する場合や、同僚と作業空間を共有している場合に役に立ちます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Cisco Extension Mobility」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
Cisco エクステンション モビリティの PIN 変更	ユーザが Cisco Unified IP Phone から PIN を変更できるようにします。PIN は次の方法で変更できます。 • Cisco Unified IP Phone の資格情報の変更サービスを使用する。 • エクステンション モビリティのログアウト画面の [PIN 変更（ChangePIN）] ソフトキーを使用する。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Cisco Extension Mobility」を参照してください。
Cisco Extension Mobility Cross Cluster	あるクラスタに設定されているユーザが、別の訪問先クラスタの Cisco Unified IP Phone にログインできます。 ホーム クラスタのユーザは、訪問先クラスタの Cisco Unified IP Phone にログインします。 **（注）** インターコム機能は Cisco エクステンション モビリティ（EM）で機能しますが、EMCC では使用できません。これは、インターコム機能は実際の電話デバイスで有効にする必要があるためです。インターコム機能は、EM プロファイルでは有効にすることができません。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Cisco Extension Mobility Cross Cluster」を参照してください。
Cisco Unified Communications Manager Assistant	コール ルーティング サービス、マネージャ用の電話機機能の拡張、主にアシスタントが使用するデスクトップ インターフェイスを提供することで、マネージャおよびそのアシスタントが効率的に協力して作業できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Cisco Unified Communications Manager Assistant with Proxy Line Support」および「Cisco Unified Communications Manager Assistant with Shared Line Support」を参照してください。
Client Matter Code（CMC; クライアント識別コード） （SCCP 電話機のみ）	ユーザが、コールが特定のクライアント マターに関連するように指定できるようにします。 **（注）** この機能を使用する場合は、一括ダイヤルを無効にする必要があります。詳細については、「一括ダイヤル」（P.5-9）を参照してください。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Client Matter Codes and Forced Authorization Codes」を参照してください。
Computer Telephony Integration（CTI; コンピュータ テレフォニー インテグレーション）アプリケーション	Computer Telephony Integration（CTI; コンピュータ/テレフォニー インテグレーション）のルート ポイントでは、アプリケーション制御のリダイレクトを行うために仮想デバイスが複数の同時コールを受信できるように指定します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「CTI Route Point Configuration」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
会議	• ユーザが、各参加者に個別にコールすることで、複数の参加者と同時に話せるようにします。会議機能には、会議、参加、C 割り込み、およびミートミーがあります。 • 標準（アド ホック）会議の開始者以外が、参加者を追加または削除でき、会議の参加者が同じ回線上の 2 つの標準会議を結合することもできます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • サービス パラメータ Advance Adhoc Conference（Cisco Unified CM の管理でデフォルトで無効に設定されています）を使用すると、これらの機能を有効にすることができます。 **（注）** これらの機能がアクティブになっているかどうかを必ずユーザに通知してください。
ダイレクト コール パーク	ユーザが、ダイヤルするか短縮ダイヤルを使用して利用可能なダイレクト コール パーク番号にアクティブ コールを転送できるようにします。 [コールパーク BLF（Call Park BLF）] ボタンはダイレクト コール パーク番号が話し中かどうかを示し、このボタンを使用するとダイレクト コール パーク番号に短縮ダイヤルでアクセスできます。 **（注）** ダイレクト コール パークを実装する場合、[パーク（Park）] ソフトキーを設定しないようにします。これによって、ユーザが 2 つのコール パーク機能を混同するのを防止します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Park and Directed Call Park」を参照してください。
直接転送	ユーザが、2 つのコールを相互に接続できるようにします（自分のコールは終了します）。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」を参照してください。
ダイレクト コール ピックアップ	ユーザが、特定の電話番号で呼び出し音が鳴っているコールに応答できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Pickup」を参照してください。
固有呼び出し音	ユーザが、電話機で着信コールおよび新しいボイス メール メッセージを知らせる方法をカスタマイズできるようにします。最大 6 種類の固有呼び出し音をカスタマイズできます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Custom Phone Rings」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
サイレント（DND）	DND がオンになっている場合、コールが呼び出し状態の間呼び出し音が鳴りません。また、すべての音声および表示による通知が無効になります。 選択した機能の 1 つとして、DND ソフトキー付きのソフトキー テンプレートまたは DND 付きの電話機ボタン テンプレートを電話機に設定できます。 次の DND 関連のパラメータは、Cisco Unified CM の管理で設定できます。 • サイレント：[デバイス（Device）] > [電話（Phone）] > [電話の設定（Phone Configuration）] を選択します。 • [DND オプション（DND Option）]：[コール拒否（Call Reject）]（すべての音声および表示による通知をオフにします）または [呼出音オフ（Ringer Off）]（呼び出し音だけをオフにします）を選択します。[DND オプション（DND Option）] は、[共通の電話プロファイル（Common Phone Profile）] ウィンドウおよび [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウの両方に表示されます（[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウが優先されます）。 • [DND 着信呼警告（DND Incoming Call Alert）]：DND がアクティブな場合、電話機で再生するアラートのタイプを選択します。このパラメータは、[共通の電話プロファイル（Common Phone Profile）] ウィンドウおよび [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウの両方にあります（[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウが優先されます）。 • [BLF ステータスが DND を示す（BLF Status Depicts DND）]：DND ステータスをビジー / アイドル状態に優先させて示すことができます。	『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Do Not Disturb」。
一括ダイヤル （SCCP 電話機のみ）	一括ダイヤルを使用すると、SCCP で電話番号のすべてのディジットを同時に送信できます。Forced Authorization Code（FAC; 強制承認コード）またはクライアント識別コード（CMC）のいずれかのダイヤルが使用されている場合は、この機能を無効にする必要があります。	一括ダイヤルを無効にするには、Cisco Unified CM の管理で [デバイス（Device）] > [電話（Phone）] の順に選択します。[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウの [プロダクト固有の設定（Product Specific Configuration Layout）] エリアで [一括ダイヤル（Enbloc Dialing）] チェックボックスをオフにし、[設定の適用（Apply Config）] をクリックしてから [保存（Save）] をクリックします。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
ファースト ダイヤル サービス	ファースト ダイヤル コードを入力してコールを発信できるようにします。ファースト ダイヤル コードは、電話番号または個人アドレス帳のエントリに割り当てることができます （この表の「サービス」を参照）。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Services」
Forced Authorization Code（FAC; 強制承認コード） （SCCP 電話機のみ）	特定のユーザが発信できるコールのタイプを制御します。 **（注）** この機能を使用する場合は、一括ダイヤルを無効にする必要があります。詳細については、「一括ダイヤル」（P.5-9）を参照してください。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Client Matter Codes and Forced Authorization Codes」を参照してください。
グループ コール ピックアップ	ユーザが、別のグループ内の電話番号で呼び出し音がなっているコールに応答できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Pickup」を参照してください。
ヘッドセットの側音レベル	Cisco Unified IP Phone 7970G、7971G、および 7971G-GE でユーザのヘッドセットの側音レベルを高くすることができます。 • [高い（High）] : ヘッドセットで再生される音声レベルを上げます。これにより、低い話し声が聞き取りやすくなります。コール センターなどの環境に適しています。 • [電話のデフォルトを使用（Use Phone Default）] : ヘッドセットで再生される現在の音声レベルを維持します。 ヘッドセットの音声レベルが高い方を好むユーザもいれば、そのレベルを不快に感じるユーザやエコーが聞こえるユーザもいます。この場合、管理者は設定を [電話のデフォルトを使用（Use Phone Default）] の設定に戻す必要があります。 通常、ヘッドセットで再生される音声レベルが高い [高い（High）] 設定を使用するのはコール センターだけです。	Cisco Unified CM の管理アプリケーションでパラメータを設定するには、[デバイス（Device）] > [電話（Phone）] の順に選択し、適切な IP Phone を選択して、[プロダクト固有の設定（Product Specific Configuration Layout）] ペインまでスクロールします。
ヘルプ システム	電話機の画面に広範囲にわたるトピックを表示します。	この機能は設定する必要はありません。
保留 / 復帰	接続されたコールのアクティブ状態と保留状態を切り替えることができます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 保留音を使用する場合を除いて、この機能は設定する必要はありません。詳細については、この表の「保留音」を参照してください。 • この表の「保留復帰」も参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
保留復帰	コールを保留できる時間を制限します。この時間が経過すると、コールは保留にされた電話機に復帰し、ユーザにアラートが通知されます。 復帰コールは、着信コールの場合とは異なり、1 回の呼び出し音（回線の新規コール インジケータの設定によってはビープ音）で通知されます。この通知は、コールが再開されるまで一定の間隔で繰り返されます。 保留復帰したコールの場合、コール バブルにアニメーションのアイコンが表示され、ステータス行に簡単なメッセージが表示されます。 コールのフォーカス優先度を着信コールまたは復帰コールに設定できます。	この機能の設定方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Hold Reversion」を参照してください。
保留状態	共有回線を使用する電話機が、コールを保留にしたローカル回線とリモート回線を区別できるようにします。	この機能は設定する必要はありません。
ハント グループの表示	メイン電話番号へのコールに対してロード シェアリングを行います。ハント グループには、着信コールに応答可能な一連の電話番号が含まれます。 コールがハント グループに含まれる電話番号に着信すると、発信者とメイン電話番号が表示されます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Hunt Group Configuration」。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Route Plans」。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「CTI Route Point Configuration」。
即時転送	ユーザが、呼び出し音が鳴っているコール、接続されているコール、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに直接転送できるようにします。コールが転送されると、その回線で新しいコールを発信または受信できるようになります。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」を参照してください。
即時転送の拡張	ユーザが、自分のボイス メッセージ システムまたは元の着信側のボイス メッセージ システムに着信コールを直接転送できます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」を参照してください。
インテリジェントなセッション制御	ユーザの携帯電話に直接かかってきたコールを会社の電話番号（固定電話）にルーティングできます。リモート接続先（携帯電話）への着信コールの場合、リモート接続先の呼び出し音だけが鳴り、固定電話の呼び出し音は鳴りません。携帯電話でコールに応答すると、固定電話には「リモートで使用中（Remote in Use）」というメッセージが表示されます。通話中、携帯電話のさまざまな機能を使用できます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Cisco Unified Mobility」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
インターコム	ユーザが、プログラマブルな電話機のボタンを使用してインターコム コールを発信または受信できるようにします。インターコム回線ボタンは次のように設定できます。 • 特定のインターコム内線に直接ダイヤルする。 • インターコム コールを開始して、ユーザに有効なインターコム番号の入力を求める。 （注）　Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用して毎日同じ電話機にログインする場合、インターコム情報が含まれる電話機ボタンのテンプレートを各自のプロファイルに割り当て、その電話機をインターコム回線のデフォルトのインターコム デバイスとして割り当てます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Feature and Services Guide*』の「Intercom」を参照してください。
参加 / 選択	単一の回線上の複数の既存のコールを結合して、会議を作成します。	詳細については、『*Cisco Unified IP Phone Guide*』の「Basic Call Handling」の章の「Making Conference Calls」の項を参照してください。
回線をまたいで参加 / 選択	ユーザが、複数の電話回線上のコールに参加機能を適用できるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 「ソフトキー テンプレートの設定」(P.5-25) を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」を参照してください。
回線選択	この機能が無効な場合（デフォルト）、呼び出し音が鳴る回線が選択されます。この機能を有効にすると、コールの呼び出し音が別の回線で鳴っている場合でもプライマリ回線がピックアップされます。ユーザは手動で別の回線を選択する必要があります。 （注）　この機能は、エクステンション モビリティに対して有効または無効にすることもできます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の次の章の [常にプライム回線を使用する（Always Use Prime Line）] オプションを参照してください。 • 「Device Profile Configuration」 • 「Common Phone Profile Configuration」 • 「Cisco Unified IP Phone Configuration」
ボイス メッセージの回線選択	この機能が無効な場合（デフォルト）、メッセージ ボタンを押すとボイス メッセージのある回線が選択されます。複数の回線にボイス メッセージがある場合は、使用可能な最初の回線が選択されます。この機能が有効な場合、ボイス メッセージの取得に常にプライマリ回線が使用されます。 （注）　この機能は、エクステンション モビリティに対して有効または無効にすることもできます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の次の章の [ボイスメッセージには常にプライム回線を使用する（Always Use Prime Line for Voice Message）] オプションを参照してください。 • 「Device Profile Configuration」 • 「Common Phone Profile Configuration」 • 「Cisco Unified IP Phone Configuration」

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
ハント グループのログアウト	ユーザがコールに応答できないときに、ハント グループをログアウトし、自分の電話機の呼び出し音が鳴らないようにコールを一時的にブロックできます。ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールで電話機の呼び出し音が鳴らないようにすることはできません。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 「ソフトキー テンプレートの設定」(P.5-25) を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Route Plans」
Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼の識別)	ユーザが、不審なコールを受信したことをシステム管理者に通知できるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Malicious Call Identification」
ミートミー会議	ユーザがミートミー会議を開催できるようにします。ミートミー会議では、他の参加者は指定の時刻に指定の番号に電話をかけます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Meet-Me Number/Pattern Configuration」を参照してください。
メッセージ受信	メッセージ受信オンおよびメッセージ受信オフのインジケータの電話番号を定義します。直接接続されているボイス メッセージ システムでは、指定された電話番号を使用して特定の Cisco Unified IP Phone のメッセージ受信の表示を設定またはクリアします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Message Waiting Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」
メッセージ受信インジケータ	ハンドセットのライトで、ユーザに 1 件または複数の新しいボイス メッセージがあることを示します。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Message Waiting Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」
不在履歴のログ	ユーザが、特定のライン アピアランスで不在履歴を不在履歴ディレクトリに記録するかどうかを指定できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Directory Number Configuration」を参照してください。
モバイル コネクト	ユーザが、1 つの電話番号を使用してビジネス コールを管理し、現在アクティブなコールを固定電話および携帯電話でピックアップできるようにします。 電話番号および時間に従って発信者のグループを制限できます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Cisco Unified Mobility」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
モバイル ボイス アクセス	ユーザが Interactive Voice Response（IVR; 自動音声応答装置）システムにアクセスして携帯電話などのリモート デバイスからコールを発信できるようにして、モバイル コネクト機能を拡張します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Cisco Unified Mobility」を参照してください。
Multilevel Precedence and Preemption（MLPP） （SCCP 電話機のみ）	電話システムでコールの優先順位を付けることができます。この機能は、ユーザが緊急コールや重要なコールを発信または受信する必要がある環境で作業している場合に使用します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Multilevel Precedence and Preemption」を参照してください。
ライン アピアランスごとに複数のコール	各回線で複数のコールをサポートできます。アクティブにできるコールは 1 つだけで、その他のコールは自動的に保留になります。	『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Directory Number Configuration」を参照してください。
保留音	発信者が保留になっている間、音楽を再生します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Music On Hold」を参照してください。
ミュート	ハンドセットまたはヘッドセットでマイクロフォンをミュートします。	この機能は設定する必要はありません。
オンフック コール転送	[転送（Transfer）] ソフトキーを 1 回押してオンフックにするだけで、コールを転送できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」を参照してください。
オンフック プレダイヤル	ユーザが、オフフックにしなくても電話番号をダイヤルできるようにします。ダイヤルした後、ハンドセットを持ち上げるか、[ダイヤル（Dial）] ソフトキーを押します。	詳細については、『*Cisco Unified IP Phone Guide*』の「Basic Call Handling」の章を参照してください。
他のグループ ピックアップ	ユーザのグループに関連付けられた他のグループの電話機で呼び出し音が鳴っているコールに応答できるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Call Pickup」を参照してください。
電話スクリーン点灯の無効化（Cisco Unified IP Phone 7965G および 7945G の場合）	電話機の電話スクリーン点灯を無効にできます。この設定は、電話スクリーンを点灯する場合を決定する他の規則よりも優先されます。 この機能を提供するには、Display URI を実装する必要があります。この URI には、点灯を無効のままにする期間の設定が含まれます。	次の場所にある『*Cisco Unified IP Phone Service Application Development Notes*』を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_programming_reference_guides_list.html
電話機からの安全な Web アクセス	Cisco Unified IP Phone では、「phone-trust」という電話機の信頼ストアを使用することで、Web に安全にアクセスできます。	
プレゼンス対応ディレクトリ	ユーザは、コール ログ、短縮ダイヤル、および社内ディレクトリに一覧された別の電話番号（DN）のコール状態をモニタできます。DN のビジー ランプ フィールド（BLF）にコール状態が表示されます。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Presence」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
Private Line Automated Ringdown（PLAR）	Cisco Unified Communications Manager の管理者は、ハンドセットが外されるとすぐに Cisco Unified IP Phone によってダイヤルされる電話番号を設定できます。これは、緊急番号または「ホットライン」番号を呼び出すための電話機に役立ちます。	SIP の場合、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「SIP Dial Rules Configuration」を参照してください。 SCCP の場合、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Directory Number Configuration」の章の「Configuring PLAR」の項を参照してください。
プライバシー	回線を共有するユーザ間で、ユーザをコールに追加したり、他のユーザのコールに関する情報を電話機の画面に表示したりできないようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Barge and Privacy」
プログラム可能な回線キー	管理者は、回線ボタンに機能を割り当てることができます。通常、ソフトキーは発信、コールバック、終了、不在転送などの機能を制御します。管理者がこれらの機能を回線ボタンに設定すると、これらの機能は常に表示され、ユーザは [発信（New Call）] などのハードキーとして使用できます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Phone Button Template Configuration」
保護コール	2 台の電話機の間で安全な（暗号化された）接続を提供します。コールの開始時にセキュリティトーンが再生されて、両方の電話機が保護されていることを示します。保護コールが設定されている場合、会議コール、共有回線、エクステンション モビリティ、回線をまたいで参加などの一部の機能は使用できません。保護されているコールは認証されません。	セキュリティの詳細については、「サポートされているセキュリティ機能の概要」を参照してください。 詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Security Guide*』を参照してください。
Quality Reporting Tool（QRT; 品質レポート ツール）	電話機の [品質（QRT）] ソフトキーを使用して、問題のあるコールの情報を送信できます。QRT は、QRT に必要なユーザとのやり取りの量に応じて 2 つのユーザ モードのいずれかで設定できます。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Quality Report Tool」
リダイヤル	ソフトキーを押すと、最後にダイヤルした電話番号にコールできるようにします。	この機能は設定する必要はありません。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
呼び出し音の設定	電話機に別のアクティブ コールが着信した場合に、回線で使用される呼び出し音のタイプを指定します。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Directory Number Configuration」 • 「カスタム呼び出し音の作成」（P.6-2）
呼び出し音の音量制御	システム管理者は、呼び出し音の音量制御機能を使用して呼び出し音の最低音量設定を制御し、最低音量レベルを調整できます。個々のユーザが呼び出し音の最低音量設定を変更することはできません。 音量ボタンのマイナス（-）側を押すと、オンフック状態の呼び出し音の音量が下がりますが、音量は設定されている最低音量レベルまでしか下がりません。最低音量レベルに達すると、ステータス メッセージは表示されません。 システムが再起動すると、呼び出し音の最低音量は設定ファイルから受信した呼び出し音の最低音量設定にリセットされます。システム管理者が前回の起動以降に新しい最低音量を設定すると、エンド ユーザがそれ以前に呼び出し音の最低音量を低く設定していた場合、呼び出し音の音量は、ユーザの設定ではなく設定ファイルの最低値に設定されます。 この機能は、通話中のハンドセット、スピーカ、およびヘッドセットの音量には適用されません。	Cisco Unified CM の管理アプリケーションでパラメータを設定するには、[デバイス（Device）] > [電話（Phone）] の順に選択し、適切な IP Phone を選択して、[プロダクト固有の設定（Product Specific Configuration Layout）] ペインまでスクロールします。
セキュアな会議	• 安全な電話機で、セキュリティ保護されている Conference Bridge を使用して会議コールを行うことができます。 • 新しい参加者は、[会議（Confrn）]、[参加（Join）]、[C 割込（cBarge）]、[割込み（Barge）] ソフトキーまたはミートミー会議を使用して追加します。参加者全員が安全な電話機を使用している限り、セキュア コール アイコンが表示されます。 • 会議リストに、会議の各参加者のセキュリティ レベルが表示されます。会議の開始者は、会議リストから非セキュアな参加者を削除できます （AdvanceAdhocConference パラメータが設定されている場合は、開始者以外が参加者を追加または削除できます）。	セキュリティの詳細については、「サポートされているセキュリティ機能の概要」（P.1-14）を参照してください。 詳細については、次のマニュアルを参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Conference Bridges」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Conference Bridge Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Security Guide*』

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
サービス	Cisco Unified CM の管理で [IP Phone サービスの設定（IP Phone Services Configuration）] メニューを使用して、ユーザが登録できる電話サービスのリストを定義および管理できるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Services」
[サービス URL（Services URL）] ボタン	ユーザが、電話機の [サービス（Services）] メニューではなく、プログラマブル ボタンからサービスにアクセスできるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Services」
セッション ハンドオフ	ユーザが、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスにコールを切り替えることができるようにします。共有回線上のすべてのデバイスのハンドセットが同時に点滅します。 Cisco Unified デバイスのいずれかからコールに応答すると、同じ回線を共有しているその他の Cisco Unified デバイスに「リモートで使用中（Remote in Use）」メッセージが表示されます。ただし、携帯電話からコールを切り替えられなかった場合、携帯電話に「会話は移動できません」という意味のメッセージが表示されることがあります。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Cisco Unified Mobility」および「Cisco Unified Mobility Advantage and Cisco Unified Mobile Communicator Integration」を参照してください。
共有回線	複数の電話機で同じ電話番号を共有したり、電話番号を同僚と共有したりできるようにします。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Directory Numbers」を参照してください。

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
サイレント モニタリング	上司がアクティブ コールをサイレントにモニタリングできるようにします。上司の声は、コールの発信側にも着信側にも聞こえません。モニタリングされている場合、通話中にユーザにはアラートトーンが聞こえます。 コールがセキュアな場合、コールのセキュリティ ステータスが Cisco Unified IP Phone に鍵のマークのアイコンとして表示されます。コールの発信側および着信側にも、コールがセキュアであり、モニタリングされていることを示すアラート トーンが聞こえることがあります。 **（注）** アクティブ コールのモニタリングまたは録音時、インターコム コールを発信または受信できます。ただし、インターコム コールを発信すると、アクティブ コールが保留になるため、録音セッションは終了し、モニタリング セッションは一時停止されます。モニタリング セッションを再開するには、コールがモニタリングされている側がコールを再開する必要があります。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Monitoring and Recording」を参照してください。
ワンボタン割り込み	ユーザが、回線キーを 1 回押すだけで共有回線上のリモートで使用中のコールに割り込みまたは C 割り込みできるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Device Pool Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」 • 『*Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide*』の「Barge and Privacy」
短縮ダイヤル	事前に保存されていた特定の番号をダイヤルします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Cisco Unified IP Phones」
Time-of-Day ルーティング	指定されたテレフォニー機能へのアクセスを時間で制限します。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Time Period Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Time-of-Day Routing」

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
タイム ゾーン アップデート	タイム ゾーンを変更して Cisco Unified IP Phone を更新します。	詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Date/Time Group Configuration」を参照してください。
タッチスクリーン点灯の無効化（Cisco Unified IP Phone 7975G、7971G-GE、および 7970G）	電話機のタッチスクリーン点灯を無効にできます。この設定は、タッチスクリーンを点灯する場合を決定する他の規則よりも優先されます。 この機能を提供するには、Display URI を実装する必要があります。この URI には、点灯を無効のままにする期間の設定が含まれます。	次の場所にある『*Cisco Unified IP Phone Service Application Development Notes*』を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_programming_reference_guides_list.html
ビデオ モード （SCCP 電話機のみ）	ユーザが、システムに設定されているモードに応じて、テレビ会議を表示するためのビデオ ディスプレイ モードを選択できるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Conference Bridge Configuration」を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Video Telephony」を参照してください。
ビデオ サポート （SCCP 電話機のみ）	電話機でビデオをサポートできるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Conference Bridge Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Understanding Video Telephony」 • 『*Cisco VT Advantage Administration Guide*』の「Overview of Cisco VT Advantage」

表 5-1　Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 （続き）

機能	説明	設定に関する参照先
ボイス メッセージ システム	コールに応答がなかった場合、発信者がメッセージを残せるようにします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 • 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Voice-Mail Port Configuration」 • 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」
Virtual Private Network（VPN; 仮想プライベート ネットワーク）クライアント	電話機が信頼できるネットワーク外に配置されている場合や電話機と Cisco Unified Communications Manager の間のネットワーク トラフィックが信頼できないネットワークを通過しなければならない場合に、Cisco Unified IP Phone 7975G、7965G、および 7945G 上で Secure Sockets Layer（SSL）を使用した Virtual Private Network（VPN; 仮想プライベート ネットワーク）接続を提供します。 （Cisco Unified IP Phone 7942G、7945G、7962G、7965G、および 7975G に限りサポート）	• 詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Security Guide*』の「Virtual Private Network Configuration」の章を参照してください。

プロダクト固有の設定パラメータの設定

Cisco Unified CM の管理で、Cisco Unified IP Phone のプロダクト固有の設定パラメータを設定できます。表 5-2 に、Cisco Unified CM の管理の設定ウィンドウ、パス、およびパラメータを示します。

表 5-2　Cisco Unified IP Phone の設定パラメータ

設定ウィンドウ	パス	パラメータ
[エンタープライズ電話の設定（Enterprise Phone Configuration）] ウィンドウ	[システム（System）] > [エンタープライズ電話の設定（Enterprise Phone Configuration）]	この 3 つの設定ウィンドウで、次のパラメータを設定できます。 • 設定アクセス • ビデオ機能 • Web アクセス • ロード サーバ • RTCP • ピア ファームウェア共有 • Cisco 検出プロトコル（CDP）：スイッチ ポート • Cisco 検出プロトコル（CDP）：PC ポート • メディア エンドポイント デバイス用リンク層検出プロトコル（LLDP-MED）：スイッチ ポート • リンク層検出プロトコル（LLDP）：PC ポート • IPv6 ロード サーバ • 802.1x 認証 **（注）** パラメータを設定する場合、更新する各設定について [共通設定の上書き（Override Common Settings）] チェックボックスを選択します。このチェックボックスをオンにしなかった場合、該当するパラメータ設定が有効になりません。この 3 つの設定ウィンドウでパラメータを設定すると、設定の優先順位は次の順になります。 • [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウ • [共通の電話プロファイル（Common Phone Profile）] ウィンドウ • [エンタープライズ電話の設定（Enterprise Phone Configuration）] ウィンドウ
[共通の電話プロファイル（Common Phone Profile）] ウィンドウ	[デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Settings）] > [共通の電話プロファイル（Common Phone Profile）]	
[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウ	[デバイス（Device）] > [電話（Phone）] ウィンドウの [プロダクト固有の設定（Product Specific Configuration）] 部分	

社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリの設定

Cisco Unified IP Phone のディレクトリ ボタンを押すと、いくつかのディレクトリにアクセスできます。ディレクトリには、次のものがあります。

- 社内ディレクトリ：ユーザが社内従業員の電話番号を検索できます。

  この機能を使用するには、システム管理者が社内ディレクトリを設定する必要があります。詳細については、「社内ディレクトリの設定」（P.5-22）を参照してください。

- パーソナル ディレクトリ：ユーザが個人の電話番号を保存できます。

  この機能を使用するには、パーソナル ディレクトリを設定するためのソフトウェアを、管理者がユーザに提供する必要があります。詳細については、「パーソナル ディレクトリの設定」（P.5-22）を参照してください。

社内ディレクトリの設定

Cisco Unified Communications Manager では、Lightweight Directory Access Protocol（LDAP）ディレクトリを使用して、Cisco Unified Communications Manager とインターフェイスで接続する Cisco Unified Communications Manager アプリケーションのユーザに関する認証と許可の情報が保存されます。認証によって、システムに対するユーザのアクセス権が確立します。一方、許可は、ユーザが使用許可を持つテレフォニー リソース（特定の内線番号など）を指定するものです。

これらの機能をインストールおよび設定するには、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「LDAP System Configuration」、「LDAP Directory Configuration」、および「LDAP Authentication Configuration」の各章を参照してください。

LDAP ディレクトリの設定が完了すると、Cisco Unified IP Phone の社内ディレクトリ サービスを使用して社内ディレクトリ内のユーザを検索できます。

パーソナル ディレクトリの設定

パーソナル ディレクトリには、次の機能があります。

- Personal Address Book（PAB; 個人アドレス帳）
- 個人ファースト ダイヤル（ファースト ダイヤル）
- アドレス帳同期ツール（TABSynch）

次の方法でパーソナル ディレクトリの機能にアクセスできます。

- Web ブラウザ:Cisco Unified Communications Manager のユーザオプション Web ページから PAB およびファースト ダイヤル機能にアクセスできます。
- Cisco Unified IP Phone：[ディレクトリ（Directories）] > [パーソナル ディレクトリ（Personal Directory）] の順に選択して、電話機から PAB およびファースト ダイヤル機能にアクセスできます。
- Microsoft Windows アプリケーション：TABSynch ツールを使用して、PAB を Microsoft Windows Address Book（WAB）と同期させることができます。Microsoft Outlook Address Book（OAB）を使用する場合は、まず OAB から Windows Address Book（WAB）にデータをインポートする必要があります。その後で、TabSync を使用して WAB をパーソナル ディレクトリと同期させます。

Cisco Unified IP Phone Address Book Synchronizer のユーザが、自分に関連するエンド ユーザ データにだけアクセスできるようにするには、Cisco Unified Serviceability で Cisco UXL Web Service をアクティブにします。

Web ブラウザからパーソナル ディレクトリを設定するには、ユーザはユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。また、ユーザに URL とログイン情報を提供する必要があります。

Microsoft Outlook と同期させるには、ユーザは管理者から提供された TABSynch ユーティリティをインストールする必要があります。ユーザに配布する TABSynch ソフトウェアを入手するには、Cisco Unified CM の管理で [アプリケーション（Application）] > [プラグイン（Plugins）] の順に選択し、[Cisco Unified IP Phone Address Book Synchronizer] をクリックします。

電話ボタン テンプレートの変更

電話ボタン テンプレートを使用すると、短縮ダイヤル機能およびコール処理機能をプログラム可能な回線ボタンに割り当てることができます。ボタンに割り当て可能なコール処理機能には、コールの転送、保留、および会議があります。

テンプレートを変更してから電話機をネットワークに登録するのが、適切な方法です。この方法によって、登録時に Cisco Unified Communications Manager から、カスタマイズ済みの電話ボタン テンプレート オプションにアクセスできます。

電話ボタン テンプレートを変更するには、Cisco Unified CM の管理で、[デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Settings）] > [電話ボタン テンプレート（Phone Button Template）] の順に選択します。電話ボタン テンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified CM の管理の [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウにある [電話ボタン テンプレート（Phone Button Template）] フィールドを使用します。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』および『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』を参照してください。

Cisco Unified 7975G、7971G-GE、および 7970G：

Cisco Unified IP Phones 7975G、7971G-GE、および 7970G に付属のデフォルト テンプレートでは、ボタン 1 と 2 を回線に使用し、ボタン 3 ～ 8 を短縮ダイヤルに割り当てます。

Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズの推奨標準テンプレートでは、ボタン 1 と 2 を回線用に使用し、ボタン 3 ～ 5 は短縮ダイヤルに割り当て、ボタン 6 ～ 8 はそれぞれ保留、会議、および転送に割り当てています。

ユーザが混乱しないように、ボタンとソフトキーに同時に機能を割り当てないでください。

Cisco Unified IP Phone 7965G：

電話機に付属の Cisco Unified IP Phone 7965G デフォルト テンプレートでは、ボタン 1 と 2 は回線用に使用し、ボタン 3 ～ 6 は短縮ダイヤルに割り当てます。

Cisco Unified IP Phone 7965G の推奨標準テンプレートでは、ボタン 1 と 2 は回線用に使用し、ボタン 3 は短縮ダイヤルに割り当て、ボタン 4 ～ 6 はそれぞれ保留、会議、転送に割り当てています。

ユーザが混乱しないように、ボタンとソフトキーに同時に機能を割り当てないでください。

Cisco Unified IP Phone 7945G：

電話機に付属の Cisco Unified IP Phone 7945G デフォルト テンプレートでは、ボタン 1 と 2 は回線用に使用します。

Cisco Unified IP Phone 7945G の推奨標準テンプレートでは、ボタン 1 と 2 は回線用に使用します。

ユーザが混乱しないように、ボタンとソフトキーに同時に機能を割り当てないでください。

個人アドレス帳またはファースト ダイヤル用の電話ボタン テンプレートの変更

サービス URL を回線ボタンに関連付けるために、電話ボタン テンプレートを変更できます。電話ボタン テンプレートを変更すると、ボタンを 1 回押すだけで PAB およびファースト ダイヤルにアクセスできます。電話ボタン テンプレートを変更する前に、PAB またはファースト ダイヤルを IP Phone サービスとして設定する必要があります。

PAB またはファースト ダイヤルを IP Phone サービスとして設定するには（まだサービスとして設定されていない場合）、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1　[デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Setting）] > [IP Phone サービス（Phone Services）] の順に選択します。

[IP Phone サービスの検索と一覧表示（Find and List IP Phone Services）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2　[新規追加（Add New）] をクリックします。[IP Phone サービスの設定（IP Phone Services Configuration）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3　次の設定を入力します。

- サービス名および ASCII サービス名：**Personal Address Book** と入力します。
- サービスの説明：任意でサービスの説明を入力します。
- サービス URL

  PAB の場合は、次の URL を入力します。

  http://<*Unified CM-server-name*>:8080/ccmpd/login.do?name=#DEVICENAME#&service=pab

  ファースト ダイヤルの場合は、次の URL を入力します。

  http://<*Unified-CM-server-name*>:8080/ccmpd/login.do?name=#DEVICENAME#&service=fd
- セキュア サービス URL

  PAB の場合は、次の URL を入力します。

  https://<Unified CM-server-name>:8443/ccmpd/login.do?name=#DEVICENAME#&service=pab

  ファースト ダイヤルの場合は、次の URL を入力します。

  https://<Unified-CM-server-name>:8443/ccmpd/login.do?name=#DEVICENAME#&service=fd
- サービス カテゴリ：[XML サービス（XML Service）] を選択します。
- サービス タイプ：[ディレクトリ（Directories）] を選択します。
- 有効化：チェックボックスを選択します。

ステップ 4　[保存（Save）] をクリックします。

サービス パラメータは必要に応じて追加、更新、または削除できます。『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「IP Phone Service Parameters」を参照してください。

（注）　ユーザが登録されている IP Phone サービスのサービス URL の変更、IP Phone サービス パラメータの削除、または IP Phone サービス パラメータ名の変更を行った場合は、[登録の更新（Update Subscriptions）] をクリックしてその変更内容で現在登録されている全ユーザを更新する必要があります。更新しなかった場合、ユーザはサービスに再登録して正しい URL を再構築する必要があります。

PAB またはファースト ダイヤル用の電話ボタン テンプレートを変更するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1　Cisco Unified CM の管理で、[デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Settings）] > [電話ボタン テンプレート（Phone Button Template）] の順に選択します。

ステップ 2　[検索（Find）] をクリックします。

ステップ 3　電話機のモデルを選択します。

ステップ 4　[コピー（Copy）] をクリックし、新しいテンプレートの名前を入力して、[保存（Save）] をクリックします。

[電話ボタン テンプレートの設定（Phone Button Template Configuration）] ウィンドウが開きます。

ステップ 5　割り当てるボタンを確認して、機能が表示されるドロップダウン リスト ボックスから、その回線に関連付けられた [サービス URL（Service URL）] を選択します。

ステップ 6　[保存（Save）] をクリックして、サービス URL を使用して新しい電話ボタン テンプレートを作成します。

ステップ 7　[デバイス（Device）] > [電話（Phone）] の順に選択して、電話機の [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウを開きます。

ステップ 8　[電話ボタン テンプレート（Phone Button Template）] ドロップダウン リスト ボックスから新しい電話ボタン テンプレートを選択します。

ステップ 9　[保存（Save）] をクリックして変更内容を保存してから、[設定の適用（Apply Config）] をクリックして変更を実行します。

これで、電話機のユーザは [ユーザ オプション（User Options）] ページにアクセスでき、サービスを電話機のボタンに関連付けることができます。

IP Phone サービスの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「IP Phone Services Configuration」の章を参照してください。回線ボタンの設定方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」の章の「Configuring Speed-Dial Buttons」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの設定

Cisco Unified CM の管理を使用して、Cisco Unified IP Phone でサポートされているアプリケーションに関連付けられたソフトキーを管理できます。Cisco Unified Communications Manager では、2 種類のソフトキー テンプレート（標準と非標準）をサポートしています。標準ソフトキー テンプレートには、標準ユーザ、標準機能、標準アシスタント、標準マネージャ、および標準共有モード マネージャがあります。ソフトキーをサポートしているアプリケーションには、1 つまたは複数の標準のソフト

キー テンプレートを関連付けることができます。標準のソフトキー テンプレートを変更するには、そのコピーを作成して別の名前を付け、コピーしたソフトキー テンプレートに変更を加えます。非標準のソフトキー テンプレートも変更できます。

ソフトキー テンプレートを設定するには、Cisco Unified CM の管理で [デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Settings）]> [ソフトキー テンプレート（Softkey Template）] の順に選択します。ソフトキー テンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified CM の管理の [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウにある [ソフトキー テンプレート（Softkey Template）] フィールドを使用します。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』および『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』を参照してください。

（注）　Cisco Unified IP Phone 7975G、7971G-GE、7970G、7965G、および 7945G は、Cisco Unified Communications Manager Administration に設定されているすべてのソフトキーをサポートします。

サービスの設定

Cisco Unified IP Phone のサービス ボタンを押すと、Cisco Unified IP Phone Service にアクセスできます。また、電話機のプログラマブル ボタンにサービスを割り当てることもできます（詳細については、Cisco Unified IP Phone のユーザ ガイドを参照してください）。これらのサービスは、XML アプリケーションで構成されているので、電話機でテキストとグラフィックスを使用した対話型のコンテンツの表示が可能です。たとえば、地元の映画館の上映時間、株価情報、天気予報のようなサービスがあります。

ユーザがサービスにアクセスできるようにするには、次の作業を行っておく必要があります。

- Cisco Unified CM の管理を使用して、利用可能なサービスを設定します。
- Cisco Unified IP Phone のユーザ オプション Web ページを使用してサービスに登録する必要があります。この Web ベースのアプリケーションが提供する Graphical User Interface（GUI; グラフィカル ユーザ インターフェイス）を使用すると、エンド ユーザは IP Phone のアプリケーションの設定を一部行うことができます。

サービスを設定する前に、設定するサイトの URL アドレスをすべて入手し、ユーザが社内 IP テレフォニー ネットワークからこれらのサイトにアクセスできるかどうかを確認してください。

これらのサービスを設定するには、Cisco Unified CM の管理で [デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Settings）] > [IP Phone サービス（Phone Services）] の順に選択します。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』および『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』を参照してください。

これらのサービスを設定した後、ユーザが Cisco Unified CM のユーザ オプション Web ページにアクセスできるかどうかを確認してください。このページでは、ユーザは設定済みのサービスを選択し、登録することができます。エンド ユーザに提供する必要がある情報については、「サービスへの登録方法と電話機能の設定方法」（P.A-3）を参照してください。

Cisco Unified IP Phone は、同時に最大 4 つの HTTP/HTTPS アクティブ クライアント接続および最大 4 つの HTTP/HTTPS アクティブ サーバ接続をサポートできます。HTTP/HTTPS サービスには、次のような例があります。

- エクステンション モビリティ
- ディレクトリ
- メッセージ

Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加

Cisco Unified Communications Manager にユーザを追加すると、ユーザに関する情報を表示および保持できます。また、各ユーザは次のタスクを実行できるようになります。

- Cisco Unified IP Phone から、社内ディレクトリやその他のカスタマイズされたディレクトリにアクセスする。
- パーソナル ディレクトリを作成する。
- 短縮ダイヤル番号とコール転送番号を設定する。
- Cisco Unified IP Phone からアクセスできるサービスに登録する。

次のいずれかの方法を使用して、Cisco Unified Communications Manager にユーザを追加できます。

- ユーザを個別に追加するには、Cisco Unified CM の管理で [ユーザ管理（User Management）] > [エンド ユーザ（End User）] の順に選択します。

  ユーザの追加の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』を参照してください。ユーザ情報の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』を参照してください。
- ユーザを一括して追加するには、一括管理ツールを使用します。この方法では、すべてのユーザに対して同じデフォルト パスワードを設定することもできます。

  詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide*』を参照してください。

ユーザ オプション Web ページの管理

ユーザ オプション Web ページから、ユーザは電話機のいくつかの機能と設定をカスタマイズおよび制御することができます。ユーザ オプション Web ページの詳細については、Cisco Unified IP Phone ユーザ ガイドを参照してください。

ユーザへのユーザ オプション Web ページに対するアクセス権限の付与

ユーザがユーザ オプション Web ページにアクセスできるようにする前に、Cisco Unified Communications Manager の標準エンド ユーザ グループにユーザを追加して、適切な電話機をユーザに関連付ける必要があります。

Cisco Unified Communications Manager の標準エンド ユーザ グループにユーザを追加するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1　Cisco Unified CM の管理で、[ユーザ管理（User Management）] > [ユーザ グループ（User Groups）] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示（Find and List Users）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2　検索条件を入力し、[検索（Find）] をクリックします。

ステップ 3　[標準 CCM エンド ユーザ（Standard CCM End Users）] リンクをクリックします。標準 CCM エンド ユーザの [ユーザ グループの設定（User Group Configuration）] ページが表示されます。

ステップ 4　[グループにエンド ユーザを追加（Add End Users to Group）] をクリックします。[ユーザの検索と一覧表示（Find and List Users）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5　追加するユーザを見つけるには、[ユーザの検索（Find User）] ドロップダウン リスト ボックスを使用して [検索（Find）] をクリックします。

ステップ 6　検索条件に一致するエンド ユーザのリストが表示されます。

ステップ 7　表示されるレコードのリストで、このユーザ グループに追加するユーザの隣にあるチェックボックスをクリックします。リストに複数のページがある場合は、ページの下部にあるリンクを使用してその他の結果を表示します。

（注）　検索結果のリストには、すでにユーザ グループに属しているエンド ユーザは表示されません。

ステップ 8　[選択項目の追加（Add Selected）] をクリックします。

適切な電話機をユーザに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1　Cisco Unified CM の管理で、[ユーザ管理（User Management）] > [エンド ユーザ（End User）] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示（Find and List Users）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2　検索条件を入力し、[検索（Find）] をクリックします。

ステップ 3　表示されるレコードのリストで、ユーザのリンクをクリックします。

ステップ 4　[デバイスの割り当て（Device Association）] をクリックします。

[ユーザ デバイス割り当て（User Device Association）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5　検索条件を入力し、[検索（Find）] をクリックします。

ステップ 6　デバイスの左側にあるチェックボックスをオンにして、エンド ユーザに関連付けるデバイスを選択します。

ステップ 7　[選択 / 変更の保存（Save Selected/Changes）] をクリックしてデバイスをエンド ユーザに関連付けます。

ユーザ オプション Web ページに関する次の情報は、必ずエンド ユーザに提供してください。

- このアプリケーションへのアクセスに必要な URL。次の URL を使用します。

  http://<*server_name:portnumber*>**/ccmuser/**。ここで、*server_name* は、Web サーバがインストールされているホストです。

- アプリケーションへのアクセスに必要なユーザ ID およびデフォルト パスワード。

  これらの設定値は、ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加したときに入力した値と同じです（「Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加」（P.5-27）を参照）。

詳細については、次の箇所を参照してください。

- 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「User Group Configuration」
- 『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「End User Configuration」
- 『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「Roles and User Groups」

ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションの指定

デフォルトでは、ユーザ オプション Web ページのほとんどのオプションが表示されます。ただし、次のオプションはシステム管理者が Cisco Unified CM の管理の [エンタープライズ パラメータ設定（Enterprise Parameters Configuration）] の設定値を使用して設定する必要があります。

- [呼び出し音設定の表示（Show Ring Settings）]
- [回線のテキスト ラベル設定の表示（Show Line Text Label Settings）]
- [コール転送の表示（Show Call Forwarding）]

（注） この設定は、サイトのすべてのユーザ オプション Web ページに適用されます。

ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションを指定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1　Cisco Unified CM の管理で、[システム（System）] > [エンタープライズ パラメータ（Enterprise Parameters）] の順に選択します。

[エンタープライズ パラメータ設定（Enterprise Parameters Configuration）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2　CCMUser パラメータのエリアで、[パラメータ値（Parameter Value）] ドロップダウン リスト ボックスから次のいずれかの値を選択して、パラメータをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定します。

- [True]：このオプションを指定すると、ユーザ オプション Web ページに表示されます（デフォルト）。
- [False]：このオプションを指定すると、ユーザ オプション Web ページに表示されません。
- [すべての設定の表示（Show All Settings）]：コール転送の設定がすべてユーザ オプション Web ページに表示されます（デフォルト）。
- [すべての設定の非表示（Hide All Settings）]：コール転送の設定がすべてユーザ オプション Web ページに表示されません。
- [すべてのコールの転送だけを表示（Show Only Call Forward All）]：「すべてのコールの転送」の設定だけがユーザ オプション Web ページに表示されます。